

# 令和4年度 国産純粋種豚改良協議会総会開催

11月11日、国産純粋種豚改良協議会の令和4年度総会が、新宿セミナールーム4(東京都渋谷区)にて開催されました。(一部WEB参加)

第6回目を迎えた総会では、有限会社ピッグセンター宝尺の宝尺実正会員並びに農林水産省畜産局畜産振興課の葛谷畜産技術室長から開会のご挨拶を頂いた後、令和3年度の事業実績及び収支決算に関する報告、監査結果の報告、令和4年度事業計画及び収支予算についての説明があり、全会一致で承認されました。

今回は国産純粋種豚改良協議会の規約第8条に基づく役員改選の年度であり、審議の結果、協議会立ち上げ当初の役員メンバーが再任されました。

役職	氏名	所属	
会長	星 正美	有限会社 星種豚場	再任
副会長	独立行政法人 家畜改良センター 犬塚明伸	独立行政法人 家畜改良センター 理事	再任
副会長	山田 芳男	株式会社 山田 B.F	再任
幹事	桑原 康	農事組合法人 富士農場サービス	再任

そのほか、協議会専用データベースシステムの運用開始と協議会遺伝的能力評価、種豚ランキングの公表、つなぎ評価の積極的な実施への取組提案、国産純粋種豚改良協議会認定銘柄豚ロゴマークの商標登録取得報告とロゴマーク利用許諾要領も紹介されました。

最後に、独立行政法人家畜改良センターの犬塚理事よりご挨拶を頂き、閉会となりました。

冒頭にご挨拶を頂いた農林水産省葛谷畜産技術室長からは、この大変な課題山積の状況に対し、国も様々な対策や体制を整えるべく取組んで頂いていること、家畜改良センター犬塚理事からは、家畜改良センターが豚の凍結受精卵について、種豚改良のための高能力な素材の衛生的な導入方法、また、不測の事態に備えた遺伝資源の保存方法として利用できる技術とすべく、調査研究を進めている報告も頂きました。宝尺会員の挨拶にもありましたが、我が国だけでなく世界的にも純粋種豚生産が減少している危機的な状況下ともいえるなか、我が協議会が改良の中心となるよう、努力していきたいと思えます。



左:宝尺会員

右:農林水産省  
畜産局畜産振興課葛谷畜産  
技術室長

総会終了後には、農林水産省畜産振興課より①持続可能な畜産物生産の在り方について説明と②アニマルウェルフェアに関する家畜改良センターの取組紹介と情報提供(分娩房の巢材について)のお願いのあと、昨年度に続き現在の特徴ある肉質を維持しつつ能力向上を目指すための産肉能力検定規程改訂に伴う、データ提供など協力の呼びかけを行いました。

昨年度総会の意見交換会で発表した国産純粋種豚改良協議会 青年倶楽部については、人のコロナ感染、豚熱の発生状況もあり活動開始できませんでしたが、今年度は活動開始の年といたく、こちらに対する御協力の御願いもいたしました。

その後、出席者よりつなぎ評価に対する質問や我が国で純粋種豚を維持改良していく事の重要性和その取組の1つとなる銘柄豚認定事業について等広く意見交換を行いました。

本年度は現在、新規で3名の会員入会がありました。一人でも多くの仲間を増やしていくとともに、皆様、協議会に益々のお力添えをよろしくお願いいたします。



左:会場の様子 中央:議長を務めて頂いた京都府養豚協議会 田中会員  
右:独立行政法人家畜改良センター 犬塚理事

## 【お知らせ】

### ①新規会員のご紹介

- ・長野県畜産研究所
- ・岐阜県畜産研究所 養豚・養鶏研究部
- ・京都府養豚協議会



協議会がオール  
ジャパン体制にま  
すます近づきまし  
た!!

### ②協議会の会計方法について

協議会は一般会計とし、消費税を課税しないこととします。

#### A:財務諸表変更について

国産純粋種豚改良協議会(以下、協議会とする。)は、公益法人ではないことから、公益会計をやめ、一般的な会計方法に切り替えました。

そのため、令和4年度通常総会議案書より、正味財産増減計算書を損益計算書に改めています。

#### B:消費税について

- ・令和2年度まで、収入は消費税のかからない会費のみであったこと。
- ・小規模の任意団体であること。

以上の理由で、現在、消費税申告を行っておりません。

ところで令和5年10月からインボイス制度がスタートします。

消費税の課税事業者にならないと、相手先にとって仕入税額控除対象の請求書を発行できない事となります。

しかし、協議会の規模に対して税金申告業務が煩雑なことを考慮し、会計士と相談の結果、引き続き課税事業者を選択しないこととしました。

協議会では、令和3年度以降銘柄豚認定事業が始まり、認定料や看板代といった収入が発生していますが、これらについては消費税を加味しない金額で請求しています。

認定事業開始当初、すでに消費税を加算して請求しお支払い頂いた会員様については、消費税分を返金する予定です。

なお、インボイス制度について詳しくは、お近くの税務署や国税庁にお問い合わせ、または、HPをご参照いたします。

(国産純粋種豚改良協議会 経理担当 桜井光輝((一社)日本養豚協会)

国産純粋種豚改良協議会の現在の会員数は、生産者会員が **21** 名、団体及び試験研究機関会員が当協会を含め **23** 名です。オブザーバー会員は **3** 名となっております。正会員への変更手続き、新規入会をお待ちしています!!



## 国産純粋種豚改良協議会 青年倶楽部 始動です!!

昨年度の総会で立ち上げのご紹介をした『国産純粋種豚改良協議会 青年倶楽部』ですが人が集まって活動することに制限がかかってしまうような状況が続き、始動に至りませんでした。

しかし、諸先輩方の種豚改良への取組姿勢、教えは引き出しに閉まっているだけでは宝の持ち腐れです。何もできない状況から、今だからできることから始めたいと思います。

初代リーダーを株式会社 シムコの木全会員が快諾してくださいました。(ありがとうございます!!)事務局も全力バックアップ体制で木全リーダーをフォロー致します。活動確定しましたら

改めて皆さんにお知らせいたします。また、青年倶楽部で取り上げて欲しいこと、取組んで欲しいことなど是非、御意見お待ちしております。

協議会会員・オブザーバーであれば、官民所属関係なく、あなたも青年倶楽部の一員です!!

【初代リーダー:木全 誠氏(株式会社 シムコ)】

先輩リーダー方の種豚改良における意気込みと想いを常々後代に伝えていかねばと思って

いた。種豚改良に取り組める環境づくり、勉強会など若いリーダーのレベルアップに向け、取り組んでいきたい。



総会後の意見交換会で青年倶楽部への  
思いを語ってくれた木全リーダー

あなたの考えるランドレース種とは？  
お声をお聞かせください。詳しくは事務局担当  
湯浅(ゆあさ)まで。

各種お問い合わせは・・・こちらまで!!

国産純粋種豚改良協議会 事務局 一般社団法人 日本養豚協会

担当:小磯・湯浅・海老原・神長

〒1510053 東京都渋谷区代々木 2-27-15 高栄ビル 2 階

電話:03-3370-5473 FAX:03-3370-7937 E-

Mail:iibutatsukurou.kokujyunkai@pig-pins.com

国産純粋種豚改良協議会公式ホームページ: <https://buta-kairyo.jp/>

ホームページのQRコードが出来ました

名刺などに入れて御活用ください!!

